

ふくし TIME'S

<http://www.knsyk.jp>

福祉タイムズ



ともしび運動

5

2009 No. 690



〈写真・菊地信夫〉

料理は美味しく食べてもらうために作る

社会福祉法人若竹大寿会で介護食の調理法の研究を任されているのは馬場幹男さん(68歳)。長年、旅館やホテルの調理師を経験し、11年前に知人から特別養護老人ホームの調理師として働かないかと声がかかり福祉業界へと転身した。

「自分が作った料理が残り、単純に悔しい気持ちになった」と転職した当時を振り返る。なぜ残るのか、原因を理解するために食事の時に顔を出して、利用者からの声を聞くことに努めた。嚥下障害により食事がうまく食べられない利用者に食べてもらえるために、調理方法の試行錯誤を繰り返した結果、BBパウダー(酵素)の開発に至った。このパウダーの使用で食材が軟らかくなり、ゼリー食、ミキサー食、きざみ食などの従来の食事形態を大きく変えることに成功した。普通の食事と変わらない見た目と味付けは、利用者からとても好評で、馬場さん自身も嬉しさが込み上げた。「一度足を踏み入れたらやめられなくなった」とやりがいを感じている。

利用者一人ひとりに合わせた美味しい食事を提供するには、調理師一人の力では無理という。介護職、管理栄養士、調理師などがチームを組み、考えていく必要があると他の専門職へメッセージを投げかける。馬場さんからの弛みない研究からは「料理は美味しく食べてもらうために作る」という信念が伝わる。

CONTENTS

特集

求められる福祉コミュニティづくり … 2

NEWS&TOPICS

かながわシニア美術展・短歌大会作品募集!! 4

福祉人材確保定着・最前線 …… 5

でかけてみませんか …… 6

連載

子どもたちがのびのびと育つために-第2回- 8

県社協のひろば

ともしび運動の輪は、寄附者の皆様に支えられ33年…10

かながわHOT情報

パソコンひろば大和(大和市) ……12

求められる福祉コミュニティづくり

～地域福祉コーディネーターの取り組みより～

特集

最近、地域社会の変化により住民の様々な生活課題が顕在化・深刻化する中で、身近な地域での住民相互のふれあいや支え合いの重要性がますます高まっています。こうした中、住民や民生委員児童委員、社協、社会福祉施設、NPOなど様々な主体の協働による、地域ニーズに即した新たな取り組みが求められています。

地域福祉コーディネーターをめぐる動き

近年、少子高齢社会の進行とともに、家族機能の低下や近隣関係の希薄化が一層進んでいます。こうした中、昨年三月、厚生労働省社会・援護局から「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」報告が出されました。

この報告の中で、最近の事例として、例えば、高齢者や在住外国人などのゴミ出しや電球の交換、要介護者である親が精神障害のある息子を抱えている複合的なケースをはじめ、ホームレスや在住外国人等社会的に排除されやすい人々などへの新たな支え合いによる支援と地域福祉コーディネーター（以下、「CO」）の重要性が指摘され、昨年度から新たな国庫補助による施策も展開されています。

本県では、平成十四年の神奈川県社会福祉審議会答申でいち早くCOの重要性を掲げ、これまで、県を中心にCOの啓発・普及や育成等に取り組んできました。

県では、COに期待される資質・役割として（一）地域に根ざした生活感覚を持ち、地域の実情をよく知っている。（二）ニーズ、地域の生活課題を受け止められる。

（三）地域資源（情報、人、場所）を掘り起こす力がある。（四）発想力を持って、地域資源・議論をつなぎ、ネットワークを図ることができる。（五）住民同士の合意形成を図ることができる。などをポイントに挙げています。

最近、本県では、専門職や民生委員児童委員、ボランティア、NPOなど、様々なCOによる新たな支え合いの取り組みが各地で芽生えています。

機を逃さず、気負わず

川崎区の「共育ひろば」は、「誰でも一緒に育ち合い」をモットーに民家を利用し、高齢・障害者サロンや学童保育等を行っています。高齢者はおしゃべりや食事を楽しみ、小学生は宿題や遊びをしながら放課後を過ごし、お互いの入り口も計算し、自然に声かけやふれあいができ、また地域に戻っても挨拶等ができるように配慮をしています。

この「共育ひろば」は地域福祉施設の元職員・牧岡英夫さんが、これまでの住民への感謝の気持ちと社会的孤立の進行など地域の生活課題への気づきから協力者とともに始めたもので、専門職のコミュニティワーカー（地域援助者）としての経験や人脈を活かし活動

しています。例えば児童相談所などとの連絡を日頃から密にし、時に行政等から「制度では救えない方の支援をお願いしたい」との依頼を受け、「共育ひろば」が困りごとを抱える人々の拠り所となつていきます。また、誰にも助けを求めることができず、高額な引越し費用の支払いに苦しむ高齢者の姿を見た牧岡さんは、この機を逃さず、自治会にちよつとしたことに協力してもらうボランティア組織化の必要性を訴え、実現したこともあります。



共育ひろばのサロンの様子

牧岡さんご自身は「タイミングを見て、地域住民との合意形成につなげる必要がある」と話され、気負わず、周りの人々の協力を得ながら活動を続けています。

活路は熱意とネットワーク

三浦うしお作業所の岩崎諭史さんは、若者が地域を離れていく中で、地域作業所を通じ「精神障害者と三浦を何とか元気にしたい」という思いから、活動に取り組んでいます。

平成十八年に障害者自立支援法が施行され、障害者の一般就労に向けての取り組み強化、作業所の変革が求められている中で、岩崎さんの所長就任となりました。先ず最初に、作業所をより人が集まる住宅地に移転させようと、三浦海岸駅近くの明るい雰囲気の中古店舗が借りられるよう大家さんに協力を求め、近隣の人々からも理解を得るため、大家さんには挨拶まわりに同行してもらい移転が実現しました。

その後、精神障害者の社会参加に向け、地域の人々の理解を深めるため、新たに革細工講習会等で住民と交流したり、自治会行事等にもできるだけ参加するなど、みんなで地域に溶け込むよう努めま

した。

そうした中、岩崎さんは、三浦には住民が気軽に立ち寄れるサロンが少ない現状に気づき、色々な関係者と協議し、「喫茶事業と市民活動の拠点・交流の場づくり」Ⅱ多機能型としびショップ「Cafe Blue Seas」のオープンにこぎつけました。また、海産物を扱う事業者の協力により目玉商品を開発し評判は好評、精神障害者もカフェスタッフとして勤務し、経営も軌道に乗り始めています。今後



三浦うしお作業所／Cafe Blue Seas の外観

は、地域の活性化に向け、住民対象の生活相談やサロン、研修会等にも力を入れていきたいと考えられています。

Co活動の定着に向けて

この二つの取り組みは、いずれ

も、身近な地域での住民相互のふれあい、見守り、支え合いをベースに、幅広い関係者との積極的な協働による福祉コミュニティづくりを展開していて、様々な生活課題に対応しうる可能性が感じられます。

最近、Coから、地域で「どういう活動があるのか分からない」「どうネットワークを構築したらよいのか分からない」などの声があがっています。今後は、これまでのCoの取り組みをステップアップさせ、Coが地域で活動し、定着できるよう支えていく、新たな展開が期待されています。

これを受け、本会では、今年度県から地域福祉基盤整備事業を受託し、スーパーバイザーを配置し、専用電話相談や派遣相談によるCoの支援に取り組めます。

Coが身近な地域で、幅広い関係者とネットワークを構築し様々な問題解決に取り組んでいく…。今、福祉コミュニティづくりに向け協働した取り組みが求められています。

(市町村社協支援担当)

かながわシニア美術展・短歌大会作品募集!!

◆第8回かながわシニア美術展

部門Ⅱ 日本画、洋画、彫刻・工芸、書、写真の5部門

会期Ⅱ 平成21年8月27日(木)～30日(日)

会場Ⅱ 神奈川県民ホール

応募資格Ⅱ 県内在住で昭和26年4月1日以前生まれでアマチュアの方

応募方法・期限Ⅱ 応募用紙に記入の上事務局宛に送付。※8月1日(土) 必着

(土) 必着

出品作品Ⅱ 60歳に達してから、又は3年以内に作成した未発表のもの。応募点数は部門を問わず一人一点。

出品料Ⅱ 500円

◆第5回かながわシニア短歌大会

応募区分Ⅱ ①シニアの部(県内在住の方で、昭和25年4月1日以前に生まれた方) ②中高生の部(県内に在住もしくは在学している中・高生) ③一般の部(①、②を除く、県内に在住もしくは在勤、在学している方)

内容Ⅱ 一人二首以内とし、未発表作品に限る。テーマは自由。

応募方法・期限Ⅱ 応募用紙に記入の上、事務局宛に送付。締切りは平成21年9月10日(木)。※当日消印有効

◆問合せ・申込先Ⅱ 本会かながわシニア社会参加推進センター

☎ 045-312-1121(内線3242)

各応募用紙は次よりダウンロード可。

URL: <http://www.nenrin.or.jp/kanagawa/>

個人県民税の寄附金税額控除の案内と控除対象寄附金の申出を受け付けます!

平成20年度の税制改革による地方税法の一部改正に伴い、個人住民税の寄附金税制が拡充され、所得税の寄附金控除の適用対象となる寄附金のうち住民の福祉の増進に寄与する寄附金として都道府県又は市区町村が条例で定めるものが、新たに個人住民税の寄附金控除の適用対象に追加されました。

本県では、神奈川県県税条例において、個人県民税の寄附金税額控除の対象となる寄附金の範囲を定め、個人県民税(所得割)の納税義務者の方が平成21年1月1日以降に支出した寄附金について、寄

附金税額控除を行うことにしました。

なお、本県における個人県民税の寄附金税額控除は、寄附金を受領する法人からの申出に基づき、個別に知事の指定を受けた寄附金に限り適用されますので、次の控除対象寄附金の要件を満たす寄附金を受領する法人の皆様は、寄附金の申出を行ってください。

◆控除対象寄附金の範囲◆

所得税の寄附金控除の適用対象となる寄附金(国に対する寄附金及び政党等に対する政治活動に関する寄附金を除きます。)のうち、次のいずれかに該当する寄附金。

① 県内に事務所又は事業所を有する者に対する寄附金であって、その目的が県民の福祉の増進に寄与するもの。

② 県内において業務(主たる目的である業務に限ります。)を行って、その目的が県民の福祉の増進に寄与するもの。

③ 寄附金を信託財産とする特定公益信託の目的が県民の福祉の増進に寄与するものである場合の当該寄附金。

※県外施設の建設費用等に充てら

れることが明らかである寄附金は、県民の福祉の増進に寄与するものに該当しません。

◆問合せⅡ 神奈川県政策部税務課 ☎ 045-210-1232

◆申出書提出先Ⅱ 各県税事務所

外部評価の結果を公表しました!

地域密着型サービス外部評価事業(以下「外部評価」として、本年三月に訪問調査を実施した事業所の評価結果を公表しました(表)。

(企画調整・情報提供担当)

平成20年度地域密着型サービス外部評価受審事業所

No.	事業所名	所在地
1	グループホーム 本牧つばき園	横浜市中区
2	小規模多機能型ハウス ふくふく	横浜市金沢区
3	スマイル住まいる新横浜	横浜市港北区
4	サリュール いすみ	横浜市泉区
5	いこいの郷 花梨	藤沢市
6	らいふ松林	茅ヶ崎市
7	グループホームすみれ	相模原市
8	グループホームひばり	相模原市
9	グループホームひびき	相模原市
10	もとまちの家	二宮町

※No. 2、5、6、10の事業所は、小規模多機能型居宅介護です。その他は、認知症高齢者グループホームです。
本会ホームページ (www.knsyk.jp)、WAM-NET(www.wam.go.jp) 等で公表しています。



福祉の職場への第一歩に期待 「ホームヘルパー2級資格」

昨年秋ごろからホームヘルパー2級資格取得講座の開催状況について問い合わせが急増しております。この傾向は本会だけでなく、各福祉団体・機関で一律の傾向のようです。

負担感が少ないことが魅力

ホームヘルパー2級資格は、地域で暮らす高齢者・障害者を支援する在宅訪問介護での活動のみならず、高齢者・障害者施設で従事するなど福祉・介護の現場を支える資格の一つです。

資格取得講座の受講者は、高校生から中高年層まで幅広く、受講目的もさまざまですが、講座は県内各地で開催されており、開催時間も夜間であったり、土日の開催であったりと、多様に実施されています。

通信教育併用の場合は、8日間のスクーリング（食事介助、車イスの介助など基本的な介護技術学習）と5日間の実習（地域包括支

援センター等のデイサービス、特別養護老人ホーム、ホームヘルパーと同行訪問）で短期間に資格が取得するなど受講者に負担感が少ないことも魅力の一つです。

講座に使用するテキストは幅広く系統立てて学ぶ内容となっており、福祉・介護の分野に未経験の方でも、比較的学习しやすくなっています。

福祉・介護の分野に未経験だった受講者からは、「技術だけではなく、利用者の視点に立ったサービス提供の必要性を徹底的に学べ有意義でした」「介護技術も大切ではあるが、いかに利用者の方とコミュニケーションを取るかが大切な仕事であるかを学びました」という声が聞かれています。

資格が見直され存続に

これまで、一連の社会福祉基礎構造改革の流れの中で、介護にかかわる職員は介護福祉士資格取得者が望ましいという政策的な流れがありました。しかし、介護現場では圧倒的な人材不足から介護福祉士資格取得者だけで介護職の確

保ができず、ホームヘルパー資格取得者の雇用を施設運営の中に盛り込み、行わなくてはならない状況が続いています。

その状況から、厚生労働省では当分の間としながらも介護福祉士資格を取得するステップとして、ホームヘルパー2級の資格の存続を表明しているところです。

講座開催状況を収集・公開

介護人材の慢性的な人手不足の打開策の一つとして、横浜市や川崎市社協では、一定の条件の中で就労した人を対象に助成制度を始めています。

本会では、ホームヘルパー2級資格を福祉・介護における入門的な資格と位置付け、横浜市社協、川崎市社協と協働により、県内で開催されるホームヘルパー2級講座の開催状況について情報収集し、専用のホームページで公開しています。ホームヘルパー2級講座開催状況については
<http://www.knsyk.jp/hh.html>
をご参照ください。

（福祉人材無料職業紹介担当）



for the best communication
35th Anniversary

All-round Communicate

株式会社ポートサイド印刷

営業品目
●企画・デザイン・文字情報処理・印刷・製本
●ポスター・パンフレット・販促チラシ・D.M.・製品カタログ・会社案内・定期刊行物・自費出版・カレンダー・各種ノベルティ
●データ処理・入力・データベース・ホームページ・クロスメディア活用 他

営業本部・工場
〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町16-2
Tel.045-776-2671(代) Fax.045-776-2678
<http://www.portside.co.jp>

神奈川県福祉研究会

(税務・会計の専門家グループ)

理 事	伊藤 正孝 (☎045 - 412 - 2110)
同	桑江 郁男 (☎045 - 402 - 4433)
同	辻村 祥造 (☎045 - 311 - 5162)
同	西迫 一郎 (☎046 - 221 - 1328)
同	林 雄一郎 (☎0466 - 26 - 3351)
代表理事	八木 時雄 (☎042 - 773 - 9266)

一般家庭から大型ビルまで
最新のエレクトロ技術により
安心と安全を提供します。

 **京浜警備保障株式会社**

代表取締役社長 **岡本 誠一郎**

本社 〒221-0056 横浜市神奈川区金港町5番地10 金港ビル4F内
☎(045)461-0101 代表 FAX (045)441-1527

相鉄線（相模鉄道）で行く ビナウォーク（海老名駅前）

海老名駅東口に広がる複合ショッピングセンター「ビナウォーク」は、今年の4月19日に7周年を迎えました。整備事業によって進化を続ける海老名駅は、3月末に相鉄線改札階に止まるエレベーターが利用開始となりました。横浜方面から海老名へ、安心して行き来できる便利な駅となりました。

今月は ⇒ NPO法人神奈川県障害者
自立生活支援センター だも伝えします！

通称KILC（キルク）。1997年4月設立。障害者の自立生活を目指してピアカウンセリング（障害者による相談事業）や各種情報提供、障害者施策の研究・提言など障害当事者の目線で共生社会の実現を目指した活動を展開。現在、厚木・平塚2ヶ所を拠点に活動中。

〈連絡先〉〔法人本部〕厚木市愛甲953-2

T E L . 046-247-7503 F A X . 046-247-7508

URL) <http://www.kilc.org> E-mail) info@kilc.org

相鉄線の海老名駅がバリアフリーに

海老名駅は、小田急線、相鉄線、JR相模線の3線が乗り入れ、県央地区の玄関口となっている主要駅です。海老名市・小田急電鉄株式会社・相模鉄道株式会社が一体となって行ってきた海老名駅自由通路整備事業（平成22年8月竣工予定）が着々と進む中、この3月29日、相鉄線の改札階に止まるエレベーター利用が開始されました。小田急線改札階と同線ホームへのアクセスは上記事業により既にバリアフリー化されておりましたが、この小田急線と相鉄線の連絡箇所には階段のみ、また地上階から相鉄線に乗る際には階段とエスカレーターしかなかったため、これまでは車いす利用者が相鉄線を利用するにはインターホンを押して駅係員を呼んだりしなければならませんでした。

このエレベーター設置により便利になったのが「ビナウォーク」です。



相鉄線改札を出た正面エリア（写真左）。ここから小田急線へ乗り換えるにはエスカレーターと左手奥のエレベーター（写真右）が利用できるように。エレベーターは地上階、相鉄線改札階、小田急線改札階の3ヶ所に止まる。

物群を中心としたショッピングセンターとなっており、海老名中央公園を取り囲むように各館が立ち並んでいます。TOHOシネマズ海老名（映画館）やデパートのマルイをはじめ、お洒落な雑貨屋や洋服屋、レストランやカフェ、クリニックや様々なサービス店舗が数多くあります。

各館は独立した建物ですが、駅直結の2階自由通路がビナウォーク各館を結ぶように延びているため、全体として一体感のあるつくりになっています。エレベーターや車いす対応トイレは各所に整備されているため、ほとんど困ることがないのがこうした大型の複合ショッピングセンターの安心で便利な点です。随時開催されているイベント情報や各ショップニュース、また店舗で利用できるクーポンなど、ホームページをチェックしてみてもは。



各館の中心にある海老名中央公園

インフォメーション

ビナウォーク（VINA WALK）

海老名駅東口より直結

ホームページ <http://www.vinawalk.com>

◆ご意見・ご感想は kikaku@knsyok.jp までお寄せください。

日常的な利用からレジャーまでOK

ビナウォークは1番館から6番館まである建

「福祉資料室」をご利用下さい！

◆利用時間：月～金（第3金曜日、祝日、年末年始等を除く）の9時～17時
◆問合せ：☎045-311-8865

図 書

★MBAの医療・介護経営（田中滋・古川俊治編集、医学書院）

★権利擁護で暮らしを支える「地域をつないだネットワーク」（PASネット編、ミネルヴァ書房）

★貧困にあえぐ国ニッポンと貧困をなくした国スウェーデン（竹崎孜著、あけび書房）

★認知症早期発見のためのCDR判定ハンドブック（目黒謙一著、医学書院）

★NPOが豊かにする住宅事業（海老塚良吉著、簡井書房）

★はじめての成年後見・後見人の心得お教えします（成年後見センター・リガルサポート編著、日本加除出版）

★認知症なんでも相談室「認知症の人への対応がよくわかるQ&Aブック」

※約5万2千冊が検索できる蔵書検索もご利用ください！
<http://www.krnsy.jp/tosyo/>

ク（三宅貴夫著、日本医療企画）
★福祉職場の人材マネジメント（エイデル研究所 福祉経営支援部編著、エイデル研究所）

資 料

★平成20年神奈川県生活保護（神奈川県保健福祉部生活保護課）

★学ぶこたわり 学びあう体験学習を育むために「平成19・20年度「福祉教育推進事業」報告書（神奈川県社会福祉協議会 福祉教育地域推進委員会）

★事業概要 平成20年版 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール（横浜市リハビリテーション事業団）

※約5万2千冊が検索できる蔵書検索もご利用ください！
<http://www.krnsy.jp/tosyo/>

私のおすすめの1冊

「病院の検査早わかりブック～あなたの健康状態を正しくチェックする～」

鈴木弘文著

県社協 地域福祉部
社会福祉施設・団体担当
経営相談員 浅野滋晴

あなたの健康を守るために、役立つ主な検査を器官・症状別に分かれ、検査の目的と方法、正常値・異常値の見分け方、さらに、その結果に基づいて考えられる病気と治療法など、理解しやすく、まとめられています。

検査を受ける前の心得から、検査の受け方、さらには症状別・病気と検査の解説がしてあり、参考になる本だと思います。

みなさんが検査を受けたら、異常のあるなしにかかわらず、医師から検査結果を教えてもらい、今後の健康管理データとして状態を把握されるとよいと思います。



1988年11月刊
定価968円（税込）
大泉書店

安心を支えます

ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償事故を補償



特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 熱中症（日射病・熱射病）による障害も補償
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償
- 地震等天災によるケガも補償（天災タイプ加入の場合）

ボランティア行事用保険

地域福祉活動の一環として行うボランティアに関する行事におけるケガや賠償事故を補償！

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャー等の活動中のケガや賠償事故を補償！

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故等によるケガを補償！

保険料（掛金） Aプラン...260円 Bプラン...420円 Cプラン...590円
天災危険補償タイプもあります。

※各プランの保険金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご覧ください。

お申込み、ご照会は、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
団体契約者 全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

<http://www.fukushihoken.co.jp>

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社

子育て家庭が地域で安心して子どもを育めるために
～麻溝地区社会福祉協議会子育てサロン（相模原市）～

地域における人間関係の希薄化から、子育てについて不安や悩みを持つ家庭が少なくない中、同じ地域住民として子育て家庭に向けて、日頃からどのような取り組みができるのでしょうか。

今号では地域住民、民生委員児童委員、福祉関係団体などで構成され、地域に根ざした福祉活動を展開している地区社会福祉協議会の子育てサロンの取り組みから、子育て家庭を支えるために期待される住民の役割を考えます。

相模原市にある麻溝地区社会福祉協議会（以下、地区社協）では、子どもの年齢層に応じて、妊娠中の母親と0歳の子ども、一歳から三歳、未就学の子どもを対象に地区内三カ所でサロンを開催しています。平成二十年度の子育てサロンの参加者は延べ千三百人以上になります。

地区社協副会長である横田愛子さんは、月に一度自宅を開放して妊娠中の母親と0歳の子どもを対象としたサロン「空とぶクレヨン」を近隣のボランティアや民生委員児童委員などのサポーターとともに平成十六年から開催しています。このサロンでは参加費を取ら

ず、親子同士の触れ合いを大切にするため特別なプログラムは設けず、開催中は出入りを自由にすることで親子が気軽に立ち寄れるようにしています。

不安が和らぐ子育てサロン

子育て中の親からは、「妊娠中と産後すぐは同じ境遇の友人ができていく、近隣で自分の子育てについて相談できる人が少ない。また周辺地域の保育園や幼稚園、小児科のある病院の情報が入りにくく子育てをする上で不安がある」との声も聞かれ、子育てをする環境に対して不安感を抱きます。

そのような状況に対して、横田

さんは「サロンは親同士が会えるきっかけとなる場となります。仲良くなると親同士の付き合いが自然と始まり、日頃からお互いを気にかける関係へと変わります。」

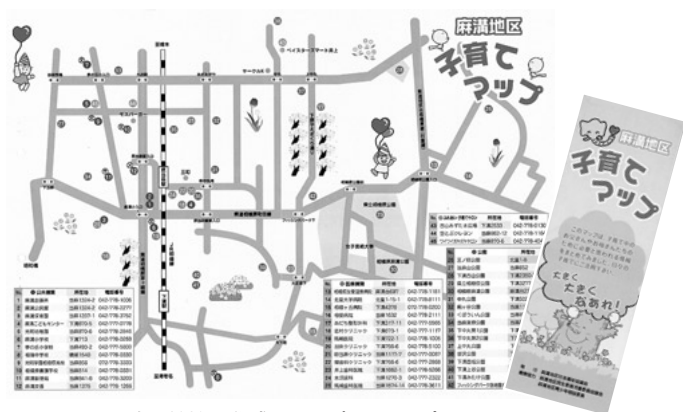
子育てに対する悩みは大きく、インターネットなどで情報を手に入れたり、それがどこまで信用できるものなのか、親にとってわからないのが実情です。参加者から出る情報は経験からの生の声なので、親同士の参考にしやすい、悩んでいたことも解消されるため、サロンに参加することで子育て中の息抜きになります」と話します。

地域の情報が行き届くように

サロンが子育て家庭にとって仲間づくりの機会や安心した情報が収集できる場であるということが、親同士のつながりから口コミで広がり、友人から誘われて初めてサロンに来る親子も少なくありません。

地域の情報を知ってもらえるように、地区社協では保育園、幼稚園、市こどもセンターの協力を得

ながら、地域のサロン情報、医療機関などを含んだ子育てに関する情報を集約した「情報紙」と「子育てマップ」を発行するなど工夫を凝らし、地区内のサロン会場、発行協力先、行政出張所などに置いています。サロンの参加者からは同じ立場にある親子に対して冊子が行き届くように「母子手帳を配布する時と合わせて、一緒に配布すると情報がすぐ手元に届くのではないか」と配布方法についての提案もされています。



地区社協で作成した子育てマップ

商店街と共に歩む

—若者と子どもたちの居場所—

NPO法人

アンガージュマン・よこすか

事務局長 島田徳隆



横須賀市上町の商店街の中で不登校の子どもたちとひきこもりの若者たちが集まる居場所を運営しています。

県と市より空き店舗対策の助成金を受け、商店街が借り上げる形で本法人は立ち上がりました。前身は不登校の親の会でしたが、活動が活発になるにつれ、子どもたちが常時集まることの出来る場所を望むようになりました。

親の中に商店街（上町商盛会）と繋がりのある方がおり、交渉の末、上記のような形をとることが出来たのです。

不登校やひきこもりを経験した人が、人の集まる商店街での社会参加を目指す、という目的は一見相容れないものと思われるかもしれませんが。

しかし、人が集まる中でこそその社会参加ではないでしょうか。商店街には若者がとても少なく、後継者不足も言われて久しくなります。その中で、本法人に集まる人たちが商店街活動に従事し、日々を過ごすことは商店街にとっても若い新鮮な空気を入れます。

商店の人たちもつかず離れず見守ってくれています。接客のプロが集まっていますから、彼らと接することは実はいとも簡単なことなのです。

ゆるやかに流れる時間の中、ゆるやかな社会参加のあり方を今後も模索していくつもりです。

住民の立場でできることを

同じ住民としてできることに
いて横田さんは「場所を提供して



いるだけですが、集まった親たちは自然と子どもの成長に対して雑談が始まります。話題の中で子育てに対しての疑問点が出た時、サロンのサポーターを含めて子どもの成長に関する専門的な知識はありませんが、子育て経験者である一人の親としてちょっとしたアドバイスができます。」と話します。子育てサロンでは、住民は地域の身近な相談役として親子に気軽に関わり、参加者とサポーターが子どもの成長を確認し合える環境ができるため、親もゆとりができ安心した気持ち

で子どもと関わります。サロンを展開していく上で「担い手となるサポーターの発掘が難しいです。子育てに落ち着くと仕事に就く傾向があり、担い手になりにくいですが、サロンに来てくれている親たちが、これからの担い手になってもらいたい」と横田さんは子育て家庭への期待を寄せながら、「親が歩いて行ける範囲にサロンを展開していきたい」と各自治会単位のサロン設置の展望を話し、地域で展開する必要性を確信しています。

この取り組みから、地域で安心できる場所があることで、子育てへの不安が緩和される効果があり、親の身近な相談役として住民が精神的に支えている様子がうかがえます。安心して子どもを育てることが出来る地域へとなるために、子育て家庭を精神的に支える地域住民には身近な場面で、身近な存在として役割が期待されるのではないのでしょうか。

（企画調整・情報提供担当）



ともしび運動の輪は、寄附者の皆様に支えられ33年

地域福祉（ともしび）推進助成金は、一ソーシャルインクルージョン「ともに生きる」社会への実現に向けた実践活動を応援します

障害のある人もない人も、子どもも高齢者も、国籍が違ってても「ともに生きる」社会の実現にむけて、「ともしび運動」は世代を越え、実践活動として継承されています。

この活動を三十年以上に渡り、支え、常にその成長を見守ってくださるのが、ともしび基金等への寄附者の皆様の暖かい心や励ましです。

平成二十年度はこの基金果実（利息）と一般寄附金によりのべ七十五団体の事業に助成しました。助成グループの活動背景や事業内容は地域福祉の多様化に伴い、多岐にわたります。（表1参照）

（表1）
平成20年度
区分別助成件数

区 分	件 数
先駆的モデル事業	12
当事者活動	31
広域的活動	32
合 計	75

詳しい内容は
本会ホームページ
<http://www.knsyk.jp>

気づいたことに対して行動し、発信する「当事者活動を応援（ともしび運動「新行動指針3」より）」

「若年認知症グループだんだん」（川崎市）は、若年性認知症を抱えた当事者がさまざまな困難を乗り越え、「人生を大切に、自分らしく、イキイキと生きること」をテーマに、だんだん仲間になって、だんだん楽しもうと、当事者と家族とサポーターの三者で構成されたグループです。

「若年性認知症」は、働き盛りに突然発症し、仕事の手順が分からなくなったり、長年やってきた家事が出来なくなるなど、今までの活躍の場が断たれてしまうことがあります。

高齢者福祉と障害者福祉の狭間にあって、「若年性認知症を対象としたケアサービスが少ない中、

当事者が安心して楽しめて、家族も息抜きや充電ができる場づくりを手弁当でおこなってきた（サポーターであり代表の中川和子さん）。活動場所は公共施設をその都度借り上げ、男の料理教室、健康体操や卓球、ボーリング、カラオケなどのレクリエーションをサロン活動として実施し、同じ日に家族会や認知症支援専門職による介護相談など適宜、参加者の関心にあわせた集いを行っています。



サロン活動「手打ちうどんづくり！」に挑戦

「ともしび助成金を受けたことで、認知症支援専門職による相談が定例化し、毎月のサロン事業が安定した」こと、また「グループ運営や自主財源の確保など、新しい活動企画に対する視野が広が

り、何より当事者本人が意欲的になった」などの成果が見られています。

新たなメンバーやサポーターも増え、新規メンバーや家族への支援活動などにより一層積極的に取り組むようになり、「サポーターが当事者を支える」から、「本人・家族・サポーターがともに」育てる『だんだん』へ変化していきます。

本会では、このように、現在はい取り組みがなされていない、或いは今後生じるであろう地域の新しい課題に光をあて、県民が主体的に取り組む地域福祉活動や草の根活動を積極的に応援していきます。

（ともしび運動推進担当）

21年度助成金募集中です

16万円以上
（限度額あり）
7月、10月末
まで

15万円以下
12月までの毎月（随時申請
受付）

助成金の内容・面接予約
045-312-1121（内3201）

平成21年度経済センサス基礎調査 協力をお願い

わが国における事業所及び企業の活動の状態を調査し、各種統計調査を効率的かつ正確に実施するための基礎資料を提供することを目的として実施します。

◇調査の時期 平成21年7月1日現在で行われます。

◇調査の範囲 全国すべての事業所及び企業が対象となります。

◇調査・回答の方法 6月から調査員がお伺いして直接調査票を配布・回収する方法を基本としますが、一部については総務省、都道府県もしくは市区町村から郵送等により調査票を配布・回収する方法で行います。

◇問合せ 神奈川県総務部統計課
☎045-1210-3233

丸紅基金・社会福祉助成金の募集

社会福祉法人丸紅基金では、わが国の福祉の向上に資することを目的に全国の社会福祉活動に従事する施設・団体に対する助成を行います。

◇締切 平成21年6月30日まで

◇問合せ 丸紅基金事務局

☎03-5446-2474

募集要項及び、申込関係書類等はホームページに掲載。

<http://www.marubeni.co.jp/kin/>

第3回「よみうり子育て応援団大賞」 応募者を募集

子育て支援の優れた団体・グループを表彰し、発足したばかりのグループも応援します。受賞団体には「よみうり子育て応援団」のメンバーである専門家や文化人、タレントの方々が活動や運営に協力します。

◇対象 「子育てサークル」「男性の育児参加」等、子どもや親を対象にした支援活動を行う民間のグループや団体。活動年数や人数は問いません。

◇応募 応募用紙に活動歴やテーマ、これから取り組みたい企画などを具体的に記入。

◇締切 平成21年6月10日必着。9月末に受賞団体を決定。

◇表彰 大賞（賞金200万円）1団体、奨励賞（同100万円）2団体を選考。そのほか、受賞団体の活動や運営を応援団メンバーが支援。

◇問合せ 読売新聞大阪本社「よみうり子育て応援団大賞」事務局
☎06-6881-7389

申込用紙はホームページに掲載。
<http://osaka.yomiuri.co.jp/ouendan/>

寄附金品あつがとつておまかせ

【一般寄附金】▽協隆志【交通遺児援護基金】▽社団法人神奈川県指定

自動車教習所協会「ともしび基金」▽熊沢電気（株）▽県立茅ヶ崎養護学校▽ともしびショップ保健福祉大学▽中村浴場▽富士シテイオ（株）F U J I三崎店▽（株）マルエツマツ子温泉▽三菱UFJニコス（株）横浜支店（計 二、三二八、四〇五円）

【寄附物品】▽大塚隆事務所▽神奈川県定年問題研究会▽財団法人大妻コタカ記念会神奈川支部▽ファミリーマート大磯店▽高島幸二郎（敬称略）



去る4月24日、本会会長にともしび基金への目録を手渡す、（株）マルエツの伊香賀執行役員（写真右）

かながわともしびセンター リニューアルの お知らせ

「障害者等ITサロン」は5月より、かながわ県民センター14階から13階に移転し、かながわともしびセンター「福祉用具（自助具）・情報コーナー」の一部としてリニューアルオープンいたしました。

自助具工房、福祉ビデオ貸出、ともしび運動紹介の各コーナーと併せて是非ご活用ください。

あなたの情報発信のおてつだい
デザイン・印刷・ホームページ制作



ときがみ印刷
株式会社 神奈川機関紙印刷所
〒236-0004 横浜市中区金沢 2-1-12
営業部 TEL045(785)1700(代) FAX045(784)8902
制作部 TEL045(785)1768 FAX045(780)1588
<http://www.kki.co.jp/>



障害のある人もない人も、誰もがともに生きる社会に参加するしくみ（地域の拠点）づくりプロジェクト

「パソコンひろば大和」(大和市)がオープンしました

四月十一日に県内五カ所目のIT活用地域拠点（県央地区）として「パソコンひろば大和（以下…ひろば）」がオープンしました。

このひろばは、社会福祉法人すずらんのが運営する「大和市障害者自立支援センター（大和市設置）」が会場を提供し、市のともしび運動推進組織である「大和市福祉推進委員



開所式で挨拶する天野大和市福祉推進委員長

会」が地域の事務局機能を担うほか、大和市を中心に活動するパソコンボランティア（通称…パソコングループ「パソコン・コミュニケーションアシスト ピコピコ（以下…ピコピコ）」が障害当事者のIT活用を支援を担当するなど、地域の関係者がそれぞれの特

長を生かした役割分担で運営を行います。

他の人やグループ・団体とつながる、つなげる
（ともしび運動「新行動指針4」より）

障害のある人にとってIT活用に欠かせない要素が、障害の状態に応じた支援機器が用意されていること、またIT操作を行う本人に寄り添い支援する人IIパソコンボラの存在です。



障害のある人のためのさまざまな人支援機能がある

そうした活動を大和市内の知的障害者施設を中心にパソコン活動を実施してきたピコピコの代表の渡辺さんは、「私たちの夢の一つが実現した。係わる関係者が家族

のように連携して活動の輪を広げていきたい」とその決意を話します。

開所式には障害当事者をはじめとした地域の住民や地区社協、ボランティア連絡会の関係者などが参加し、今後のひろばの活動に期待が高まります。

ともしび運動「新行動指針」の具現化のカタチ

ともしび運動は、だれもが主役になり、多様な人とのつながりを再構築し、ともに生きる社会をめざしています。

「ひろば」はそうした、一人ひとりの関心や能力に応じて、参加・行動できる環境を社会的に整える、地域拠点として、今後ますます期待されます。本会としても「新行動指針」の具現化に向けてひろばへの支援に取り組んでいきます。

（ともしび運動推進担当）

パソコンひろば大和

毎週土曜日（第二は休み） 13時30分～15時20分（二部制…要予約）

※月々金パソコンコーナーもあり

問合せ・参加申込… ☎046-1266-5198 大和市障害者自立支援センターまで

一社会福祉施設の設計監理一

株式会社 安江設計研究所
YASUE & ASSOCIATES'Inc.

東京都港区高輪2-19-17-808
TEL03(3449)1771/FAX03(3449)1772
URL:www.yasue-sekkei.co.jp
E-mail: yasue@yasue-sekkei.co.jp



知的障害者通所授産施設(平塚市)



新築・増築・改修の他、耐震診断・建物定期報告・アスベスト調査等お気軽にご相談ください